



第16号

輝け、大越っ子

《かしこく・やさしく・たくましく》 発行日 平成30年10月10日
福島県田村市立大越小学校 発行責任者 校長 根内 喜代重

節目が大事！「あなたは、何をがんばるの？」

10月5日（金）に前期終業式、体育館のスクリーンに映し出された「青空に向かってまっすぐに伸びた竹林」を見ながら、節目の大切さを確認しました。3連休を挟んだだけの2学期制は、「区切り」という実感が伴いにくい面がありますが、だからこそ『節目』の大切さを強く意識する必要があります。児童も教職員も全員で前期教育活動の成果や課題を確かめるとともに、今後のめあてを決め、志をもって頑張る誓いの機会としました。

10月9日（火）後期始業式での代表児童の決意発表は、次のようなものでした。



「がんばって鉄棒の前回りができるようになりました。後期は給食を時間内に食べることです。」「算数の勉強をがんばって100点とりました。これからも頭をよくしたいです。」「水泳で、けのび・バタ足・息継ぎができるようになりました。後期は学習発表会で堂々と発表したいです。」「漢字と計算のコンクール、そして、時間を守りたいです。」「絵の色ぬり、時間を守る、走ることをがんばります。」「毎日の宿題をがんばりました。後期は、社会の勉強とけがに気をつけて元気よく遊びたいです。」「体力づくりやあいさつすることを頑張りました。後期は、当番の仕事と漢字学習を頑張ります。」「算数の文章問題を頑張りでできるようになりました。これからも元気に登校し、最高学年になるためさらに力を発揮したいです。」「毎日の復習をしっかりとやるなど勉強を頑張りました。後期は何事にも積極的に取り組み、一日一日を大切に生活します。」

進級・進学に向けての大切な残り6ヶ月、子どもの成長に喜びを感じながら、教職員一丸となって頑張ってまいりますので、今後とも保護者や地域の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

◇ 入賞おめでとう！

《田村地区小学校書写コンクール》

- 【最優秀賞】 2年 荻野 佑奈 6年 塚原 綾香
- 【特選】 1年 武田 紘空、会田 琴華 2年 小川陽菜向
- 4年 久保田浩貴、松本 明弘 5年 石井 雄基、藤井 絢、三浦 歩人
- 6年 三本木小雪、三浦はるか
- 【準特選】 2年 会田 樹、新田 隼人、齊藤 志穂、鈴木 咲弥、渡邊 姫愛
- 3年 宗像 莉央、佐久間真優、猪狩 颯太、吉田 知弥、柳沼 里咲、三浦 岳人
- 4年 渡邊 紫桜、野口 るな、橘 未桜
- 5年 岡田桃百香、根本 莉子

《小学生の税に関する習字展》 ※10.27(土)～28(日)大越行政局に展示されます。

- 【特選】 5年 石井 雄基 【銅賞】 6年 久保田真帆

《第31回国際平和ポスターコンテスト》

【副ライオンクラブ会長賞】6年 三浦はるか ※11.9(金)～28(水)に船引駅自由通路に展示されます。

《第6回田村市発明工夫展》

◇ 小学校低学年の部 【優秀賞】2年 久保田烈琉「つえ・まもるくん」

※田村市の代表作品として福島県発明工夫展へ出品されます。

《田村地区青少年読書感想文コンクール》

【特選】2年 小川 陽菜向〈県出品〉

5年 石井 雄基

【準特選】1年 会田 琴華 3年 柳沼 佑葉 6年 橋 彩実

【入選】2年 石井 友翔 4年 久保田浩貴

〈読書で見つけた心に残る言葉〉

「心で見なくちゃ、ものごとはよく見えない。かんじんなことは、目に見えないんだ。」(星の王子様)

子どもたちの感想文を読んでいると、感動とともに思いや願い、表情まで浮かんでいきます。書かれている文や言葉を理解しながら、深め、広げ、言葉のもつ新しい意味にも気づいていきます。それが豊かな心や考える力を育むことにつながっていきます。心にとまった感想の一端を紹介します。

1年 会田 琴葉 (ことは) 「がっこうだって どきどきしている」を読んで

「わたしの学校も何かしゃべってくれるのかなと思います。わたしが大好きな図工でアルパカのえをかいているとき、「がんばってかいているね。」とほめてくれたり、とくいじゃない算数のもんだいをかंगाえているときは、「がんばって、きっとできるよ。」とはげましてくれたり、、、」

2年1組 石井 友翔 (ゆうと) 「大ごえ小学校だって どきどきしている」

「この本を読んで、学校も生きているんだっていうことがわかったよ。」

「ぼくは、生まれて、きみに会えてよかったよ。教室にいるやさしいみんなと、いい大ごえ小学校に会えてみんなわくわくしているんだ。」

2年2組 小川陽菜向 (ひなた) 「友だち思いのあなぐまくん」

「この本のとうじょう人ぶつは、あなぐま、こぶた、りす、うさぎ、はりねずみで、みんながそれぞれ友だちのことを大切に思っています。自分がつくったり、見つけたりしたものを、あなぐまさんにも分けてくれるのです。」

3年 柳沼 佑葉 (ゆうは) 「ロビーの大切な友だち」

「この本を読もうと思ったきっかけは、本の題名です。さいごのオオカミの「さいご」とはどういうことなのか気になりました。」

「わたしもロビーのように、相手の気持ちを考えながら行動できるような人になりたいです。」

4年 久保田浩貴 (ひろき) 「けいさつ犬になったアンズ」を読んで

「この本は、殺処分されそうになったトイプードルを警察犬指導士が引き取り、警察犬に育てた物語です。アンズを警察犬に育てた鈴木さんはすごいと思いました。自分の思い通りにならないからといって、生き物の命を勝手になくすことは許されません。ぼくは、この物語を読んで、できないと思ったことも、信じればできることを学びました。」

5年 石井 雄基 (ゆうき) 「ソーリ！」を読んで

「寄り添ってくれる友だちの存在が勇気になると感じた。そして、照葉はもう一度総理大臣になろうと決意した。」「ぼくの夢は、映画製作会社のルーカスフィルムで働くことだ。この夢を学級の友だちに話したとき、からかう友だちは誰もいなかった。夢や目標があるからつらいことも頑張れる。」

6年 橋 彩実 (あみ) 「ぼくとベルさん」を読んで

「『かしこきとは強い欲求のようなものだ』この言葉を私はもう一度読み返しました。私は、強く願うことはすごく大切だと思いました。そして、目標を持って努力することは楽しいことだということもこの本を読んで感じました。」

～ 子どもたちの思いや願い、私たちも共有したいと思います！ ～